



PTAだより



第2号

昭和小学校PTA本部
令和7年6月吉日発行

5月31日(土)、今年度最初の運営委員会を開催しました。学校側の窓口である長谷川教頭のほか、鈴木校長と児玉教務主任も交えて、音楽のひろば、プール見守りなど、夏休み前の活動の進め方について議論しました。また、学年代表からは、学年サポーターと連携を図っていくため、年間スケジュールを周知することなどの提案がありました。今年度は学校側もPTA側も人員や組織が大きく変化しましたが、昨年度同様、和気あいあいと活動していきますので、よろしくお願いします。

第1回 運営委員会（5/31）の報告

1. PTA会長挨拶

改革初年度ということで、大変なことも多いと思いますが、サポーターも巻き込みながら、皆さんで協力して、よりよいPTAを目指してがんばりましょう。

2. 校長先生挨拶

今年度、昭和小は、児童676名、職員56名の在籍でスタートしました。

学校生活では、時にトラブルやケンカが起きることもありますが、これも集団生活で学ぶ大切なことであり、大人になるために必要な事と捉えています。原因経緯を聞いて、必要に応じて保護者の皆様方にもお伝えしながら、家庭と学校で連携して成長を見守っていきたいと思います。

本年度もPTAの皆様方と力を合わせて、昭和小の「笑顔いっぱい昭和小」のキャッチフレーズのとおり、全ては子どもたちのためにということで取り組んでいきたいと思っています。

3. 活動概要、活動に関する意見交換

(1) サポーター制度の運用改善

- 1月の役員決定の際に、年間行事の概要（活動内容と必要な人数を記載）を次年度サポーターに配布してはどうか。
- 同じく、サポーターの動員が必要な行事については、役員決定の際に、個々のサポーターに対し担当を割り振ってしまってはどうか。募集をかけたけれども誰も手を挙げませんでしたということでは、サポーター制度の意味がない。
- 昭和中では、入学式の駐車場担当は○年生の保護者、写真パネル担当は△年生の保護者というように、各学年に担当を割り振り、学年のうち誰が参加するかについては、その学年の保護者同士で決めている。昭和小のサポーター制度に応用できないか。

→→→（上記3点について）次年度のPTA役員・サポーターが全員集まる1月の役員決めの会合は、活動周知の絶好の機会であり、これを最大限活用すべしという意見多数。

一方で、1月の会合は、役員を決めるだけでも相当な時間を要する上、会合後には授業参観が控えていることもあり、役員決めの後に更に何かを決めるというのは、かなり厳しいのではないかという意見もあり。

→→→ いずれの立場も、1月の会合を最大限活用したいという点は一致。授業参観前という時間的な制約がある中、何ができるか、継続して検討する。

- 。 1月の役員決めの後、たとえば4月の授業参観日に、学年代表とサポーターの顔合わせを設定できないか。いよいよ活動が始まるという段階で、改めて顔を合わせておけば、意思疎通が円滑に進むのではないか。

→→→ 1月に各々の担当が決まった段階で「学年代表とサポーターは4月に改めて顔合わせ」と予定を入れてしまえば可能。その場合、顔合わせする／しないを学年代表の判断に任せるか、それとも必須の予定として組み込んでしまうか。

→→→ こちらも要検討。

(2) 各行事における具体的な課題と対応

- 。 プール見守り：学校側より「学校支援ボランティアの方々に協力を依頼して、6月20日授業分までの必要人数は確保した。それ以降の見守り活動への参加をお願いしたいところであるが、仮に人数が集まりすぎたら、保護者対応に時間を割かれ、かえって授業に支障が出てしまうのではないか。協力は大変ありがたいが、そのあたりのことを若干懸念している。」という話が出たため、募集の範囲、方法について要検討。
- 。 音楽のひろば：駐車場係2名、整列係3名が必要。今年度は役員内で割り振るが、来年度からはサポーターに割り振ることも検討。
- 。 登校見守り：千葉銀行前とセイムス前は人数が慢性的に不足している。デニーズ方面のサポーターに協力を呼びかけることを検討。

4. 昭和小祭について

- 。 今年度は11月29日(土)に開催。
- 。 昨年度、初めてキッチンカー導入したが、賛否両論あったこともあり、今年度はおそらく見直すことになる。
- 。 昨年度までは各部がブースを担当していたが、今年度からは各学年がブースを担当する。サポーターも全員参加する（サポーターも含め全員参加しないと、運営が回らない）。
- 。 詳細は学校と今後詰めていく。

5. 次回予定

第2回運営委員会

7月5日(土) 9時00分～11時00分
@昭和小PC室（第1回と同じ）

